

(参考—第4部の内容)

<p><b>1 高度・先端的なものづくり分野の人材育成</b></p> <p><b>(1)先端的なものづくり分野の人材育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>①ものづくり研究開発センターの最先端設備を活用した先端研究・産学官共同研究による若手研究者等の育成</li><li>②センターの各種研修事業による最先端技術を習得・活用できる人材の育成</li><li>③センターの長期インターンシップによる高等教育機関の人材の育成</li><li>④航空機、ロボット等先端的なものづくりを支える人材の育成</li><li>⑤高度・先端的な技術開発により県内の活性化に寄与した企業に対する顕彰（富山県ものづくり大賞）の実施</li></ul> <p><b>(2)ものづくりの高度化のための人材育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>①工学系高等教育機関による高度な技術者教育の推進等、高度なものづくり人材の育成</li><li>②職業能力開発校と高等教育機関の連携による技術者・技能者教育の推進</li><li>③製品の企画から販売までを視野に入れ、製品の高付加価値化を図るテクニカル・エンジニアを育成</li><li>④県内企業の海外展開支援のためのグローバル化に対応した人材の育成</li><li>⑤高度な技術に係るオーダーメイド型訓練の実施</li></ul> <p><b>(3)高度熟練技能の継承・熟練技能者の育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>①とやまの名匠を講師とするとやま技能継承塾の開催</li><li>②高度熟練技能者を企業に派遣する熟練技能者出前講座の実施</li><li>③高度な技能を有する技能エキスパートのデータベース化</li><li>④認定職業訓練校の設置促進と従業員の能力向上の支援</li></ul> <p><b>(4)将来のものづくり産業を担う人材の育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>①ものづくり中核校の設置やものづくり学の開設</li><li>②企業の技能者による高校生の実践的な技能の習得への支援</li><li>③県工業教育振興会による高校生のものづくり活動の後援</li></ul>	<p><b>(5)特別な支援を要する者の職業能力開発の推進と就職支援</b> (母子家庭の母等) ①職業能力開発の機会の提供 ②託児サービスなど訓練を受講しやすい環境の整備 ③母子家庭等就業・自立支援センター等と連携し、仕事と子育ての両立を支援</p> <p>(障害者) ①実践的な職業訓練の実施 ②障害者職業訓練コーディネーターを配置し、訓練の委託先の開拓やカリキュラムの作成・提供 ③障害者就業・生活支援センターによる支援 ④障害者技能競技大会の充実と参加促進</p>
<p><b>2 産業構造の変化に柔軟に対応する人材育成</b></p> <p><b>(1)円滑な労働移動のための人材育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>①企業が従業員の企業内労働移動を行う場合の職業訓練の提供やアドバイザーの派遣等</li><li>②労働者の新たな能力開発のための多様な職業訓練の提供や助成制度などの情報提供</li><li>③転職を考える労働者に対するキャリア・コンサルティングや各種支援制度などの情報提供</li></ul> <p><b>(2)高い雇用吸収力が見込まれる分野の人材育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>①人材ニーズに対応したカリキュラムの見直しによる在職者・離職者訓練の充実</li><li>②新たな訓練科目の設置や民間の教育訓練機関の積極的な活用による人材育成</li><li>③新たな訓練カリキュラムに対応した職業訓練指導員の指導力の向上</li></ul> <p><b>(個別分野の人材育成)</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>①介護・福祉分野については、離職者訓練の拡充等による人材の育成・確保や福祉カレッジの研修等による資質向上</li><li>②観光分野については、とやま観光未来創造塾の開催によるおもてなし力の向上等次世代の観光を担う人材の育成</li><li>③農林水産分野については、とやま農業未来塾等の就業前研修や終業後の職場内研修による人材の育成</li></ul>	<p><b>4 雇用のセーフティネットとしての職業能力開発（離職者訓練）の推進</b></p> <p><b>(1)雇用情勢の変化に迅速・柔軟に対応する職業訓練の実施</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>①求人ニーズに応じた職種や内容の離職者訓練の拡充</li><li>②雇用情勢に機動的に対応した委託訓練の拡充</li><li>③機構等と連携した地域ニーズを踏まえた職業訓練の開設と県全体として必要な訓練機会を提供</li><li>④求職者支援制度の普及促進と適切な職業訓練を選択できる情報提供や相談の実施</li></ul> <p><b>(2)求人ニーズや労働市場の情勢を踏まえた職業訓練の機会の提供と就職支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>①離転職者のニーズに応じた多様な訓練の機会の提供と求人側のニーズも踏まえた訓練の質の確保</li><li>②雇用のミスマッチの解消のための訓練受講前の適切な情報提供</li><li>③就職支援指導員の拡充による受講者の就職支援の充実</li><li>④ジョブ・カードを有効に活用しながらキャリア・コンサルティングや就職支援を実施</li></ul>
<p><b>3 職業生涯を通じたキャリア形成支援の充実</b></p> <p><b>(1)学校教育段階からのキャリア教育の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>①小学校：ボランティア等の社会体験による働くことへの理解</li><li>②中学校：社会に学ぶ14歳の挑戦の継続実施</li><li>③高校：社会人を講師とした講話の実施</li><li>④高校生インターンシップの受入事業所の拡大や体験事業の充実</li><li>⑤大学生のインターンシップの充実</li><li>⑥技専にキャリア・コンサルタントを配置し、ジョブ・カードを活用しながらキャリア形成を支援</li></ul> <p><b>(2)若年者の職業能力開発の促進</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>①ヤング・ジョブとやまによるフリーターの正規雇用移行への支援</li><li>②若者サポートステーションにおけるニート等の若者の自立支援</li><li>③日本版デュアルシステムによる職業訓練の実施</li><li>④コミュニケーション能力等社会人として必要な資質や能力の訓練</li><li>⑤若手技能者の意欲向上の研修会（やる気塾）の開催</li></ul> <p><b>(3)企業の在職者に対する体系的な職業能力開発への支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>①職業能力開発推進者の選任促進等、企業の能力開発の取組み充実のための支援</li><li>②技能継承塾、オーダーメイド型訓練、熟練技能者出前講座等によるキャリア形成の支援</li><li>③産業界等と連携した各種研修事業による経営者や従業員等の資質向上</li><li>④ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた環境整備</li></ul> <p><b>(4)高齢者の職業能力開発や再就職支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>①豊富な知識、経験、技能の発揮・活躍の機会の創出</li><li>②新たな分野の再就職につながるような能力開発</li><li>③ハローワークやシルバー人材センター等と連携し、能力開発、情報提供、就職紹介等を充実</li></ul>	<p><b>5 技能の振興・ものづくりを支える機運の醸成</b></p> <p><b>(1)技能振興、技能労働者の地位向上のための環境整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>①とやまの名匠の拡充と周知促進</li><li>②技能検定制度の普及と「技能士」の周知促進</li><li>③優れた技能士による展示会や交流会の誘致・開催</li><li>④卓越した技能者や訓練校の優秀な生徒に対する表彰の実施</li></ul> <p><b>(2)技能者が意欲的に技能向上に取り組むための環境整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>①企業のニーズや技能検定に対応したとやま技能継承塾の効果的な実施</li><li>②企業が技能検定対策として活用しやすいオーダーメイド型訓練や出前講座の実施による技能検定の取組みの支援</li><li>③技能検定に積極的に取り組む企業や検定制度の実施に寄与した者に対する表彰の実施</li><li>④技能の全国大会の周知・参加促進、強化訓練への支援の充実</li><li>⑤全国大会上位入賞者に対する表彰制度の創設</li></ul> <p><b>(3)若者のものづくりマインドの醸成</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>①技専における小学生を対象としたものづくり体験事業の充実</li><li>②ポリテクカレッジと連携し、学生が技能やものづくりに触れる機会を創出</li><li>③とやまの名匠による技能の実演や講習の実施等、技能者との交流の促進</li><li>④ものづくり中核校におけるものづくり学の推進</li><li>⑤工業高校と企業を橋渡しするナビゲーターの設置により、企業の技能者による工業高校生の実技指導を促進</li><li>⑥「若年者ものづくり競技大会」への参加促進</li></ul>
<p><b>6 職業能力開発の推進体制の整備</b></p> <p><b>(1)県が行う職業能力開発の向上・改善</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>①技専に外部委員会を設置し、科目・カリキュラムを見直し</li><li>②指導員の資質向上のため、新たな分野の指導技法を習得</li><li>③指導員によるキャリア・コンサルティング技法の習得と就職支援の強化</li></ul> <p><b>(2)国、県、市町村、民間及び産業界の連携の促進</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>①技専とポリテクセンターの情報共有のための連絡会議の開催</li><li>②専門学校等との連絡会議による民間教育訓練機関との連携強化</li><li>③市が運営する職業訓練センター等との連携</li><li>④経済団体、職能協会、技能士会との連携し、多様な研修会を開催</li><li>⑤多様な機関が実施する各種の訓練、研修、セミナー等についてのわかりやすい情報提供</li></ul> <p><b>(3)企業の職業能力開発力向上への支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>①職業能力開発推進者の選任促進とそのレベルアップの支援</li><li>②企業の管理監督者に対するコーチング・スキル等の訓練の実施</li><li>③能力開発を積極的に実施している企業の表彰の実施</li><li>④認定職業訓練制度の普及促進、訓練校の功績者に対する表彰</li><li>⑤オーダーメイド型訓練の充実</li></ul>	